

加にるみイなの思い出

鹿児島市 ーなんと (1978) 年8月12日

(1953) 年11月1日生 鹿児島県吹上浜で市川修-ともに拉致 (24歳) 昭和28 昭和53

平成16年12月9日、東京連続集会発言から要約 平野フミ子さん(るみ子さんの柿)



は本当に近づけない存在でした。でも、るみ子だけは父親に対して で、2、3日おきに帰ってきておりました。 しょっちゅういないんですけ ました。鹿児島の営林署は屋久島の杉を運ぶ船を持ってましたの るくて。父親がとにかく厳しくて、私たちに 私、信一という弟、そしてるみ子がいて、照明が一番下です。るみ子 「とうちゃん、とうちゃん」と言ってですね。父親は営林署に勤めて るみ子は私たち増元家にとって太陽的存在でした。兄弟順で、 は、本当にもう、いつも明

父は物凄くかわいがっていました。私たちは父が怖くて。何かというとすぐ怒るん ですね。私たちは本当に「どうしてこんな父ちゃんと結婚したの」と母にいつも言 番可愛がってた、その妹がですね、北朝鮮 ども、帰ってくるたんびに「とうちゃん、お帰り」と率先して言っていましたので、 に拉致されていった。本当に父親はどんな思いでいたのかと思うと…。 うぐらいですね。4人の兄弟の中で-

妹の事に関してはタブーでした。そうしない そして世間にも何か知らないけどタブー。 『家族』っていう本を見ると、皆、どこでも失踪した人のことには触れない、触れ られたくないという気持ちです。安明進さんの、「めぐみちゃんを見た」という証 、クローズアップされて。で、私たちはやっと これで妹のことをこんなして皆さんの前で公に話せるという一条の光を見い出し と母親が本当にもう泣いてしまうし。 言ですね。センセーショナルにですね。 私たちは家族会が結成されるまで、 た思いでした。

父は本当に残念ながら、平成14年、10月15日に5人の方が帰っていらした翌々 日に、肺がんで亡くなりました。本当にるみ子に会いたくて会いたくてたまらな



父・正一さんは、「わしは日本を信じる。だからは日本を信じる。だからお前も日本を信じる!」と言い遺した。享年79歳(増元照明さん撮影だデオより)

とか解説がついてたんです。その時でも、病室のベッドの上で 日、延命措置を受ける午前中にですね、父親は「結婚を許 いったと思います。どんなにしても父に生きていて欲しかったか を振りました。テレビの中で妹たちを紹介するのに、婚約間近 す」って言ってくれました。もうその時は自分でも死期が分かっ [まだおれは許しとらん] って言うんですね。それが、10月の11 ら、延命措置もさせました。うちの父は「そんなのはよか」と首 てたから、これだけは言って旅立ちたいと思ったんでしょうね、 父親の責任として。 セ

増元照明さん (るみ子さんの弟)

-緒の布団で寝てい ました。それくらい小さいときからの習慣で、姉と寝るのが全然抵抗なかった。中 育ちました。私は末っ子ですから、本当は甘えん坊なんです。今でこそこうやって 学の1年まではもしかしたら、寝てたかも知れない。私は身長130センチで、ホント 可愛かったですから。特にるみ姉には、歳が近かったせいもあり、非常に甘えて 姉が中学の時、私がまだ小学校6年生くらいまでは、姉と-偉そうにしてますけども。

見てると、あぁかっこいいなぁと思って。私が大学入試に受かっ た時、非常に喜んでくれました。その当時、高卒の事務員の給料 中学になって、姉と同じ卓球部に入って、そして姉のカッコ良さ を知りました。背がすらっとして、サウスポーで卓球するるみ姉を はたいした事ないと思うんですが、給料の半分くらいで時計を 買って贈ってくれました。今はもうベルトがちぎれそうになって、



これ以上触ると何時ちぎれるか分からない。あのベルトは願掛けみたいな物で すので、あまり触りたくないんです。それくらい私は大事にしております。 運命の1978年の8月12日。その前日の夜、姉が「明日、市川修一さんという人 とお袋は多少話を知っていたようですけども、私は初めてだっ たものですからショックを受けたんです。家を出て行く姿は、皆さんご覧のサング とデートに行く」と。その事を、フミ子とお袋と私と3人で、飯を食いながら聞いて ラスをかけて赤いトレーナーを着た姿だったんです。 おりました。フミ子

(冒頭のるみ子さんの顔写真は、拉致当日、市川修一さんと撮りあったもの。 置 き去りの車の中にあったカメラのフィルムを後で現像して判明)



描元るみ子なん①

(写真左>
幼い頃のるみ子さん(左から2人目)。左隣は兄・信一さん。右側はいとこたち。幼児体型の残る頃の貴重な写真。
く写真右>
るみ子さん5歳のとき(右)。弟・照明さん(家族会事務局長3歳当時)と並んで。

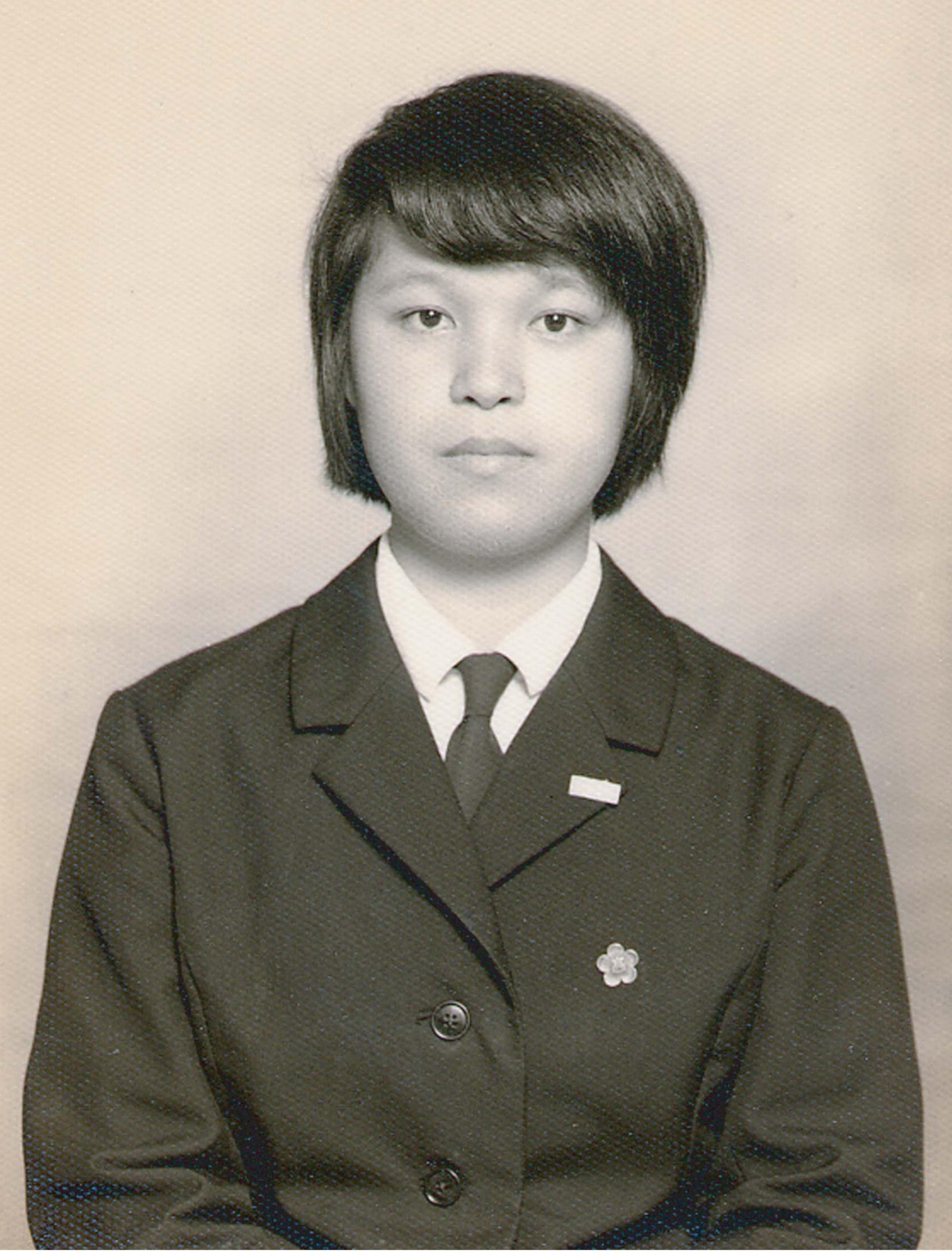




増元るみ子さん(2)

く写真右> 小学校6年生の頃のるみ子さん。自宅の庭 で。この写真は、弟・照明さんが撮った記 憶があるもの。 く写真左> 兄の自転車に腰掛けて。中学3年生の頃。 この頃すでに身長160cm近くあったるみ 子さん。自宅前にて。

なん 緒のるみ子 生時代の遠足。学友たちと **植元るみ子なん③**



増元るみ子さん④ 高校3年生のるみ子さん。生徒手帳の写真。昭和46年 (1971年)

て買った振袖。昭和49年(1974年) 晴着姿のるみ子さん。お給料を少しずつ貯金 、状の田・ 増元るみ子なんり



増元るみ子さん⑥ 会社の旅行。同僚たちとともに散策を楽しむるみ子さん (先頭)。20歳の頃。



増元るみ子さん⑦ いとこの結婚式の日。昭和53年(1978年)6月。この2ヵ 月後に拉致されようとは…。

なん042 2-30 、祖母、叔母、(後列左から)叔父. この結婚式の帰り。(前列左から)母・信子さんもに。昭和53年(1978年)6月 ムといいと 増元るみ子さん(8)